



# 鎌養だより

(校長室より 第6号)

令和元年10月4日

鎌倉養護学校 校長 齋木 信也



昨年の9月の鎌養だよりには、西日本大豪雨と北海道のブラックアウト震災のことがつづられています。今年の日本の9月は、台風15号による千葉県の大停電……。言ってみれば、こちらも千葉県版ブラックアウトでしょうか。当日休校をお願いした鎌倉養護周辺も、未明から広範囲で停電。車で関谷インターに差し掛かると信号機が暗いまま無言の車列が不安

のろのろとつながっている状態でした。

電気が来ないと、ほとんどの仕事が停止します。学校的には、水が貯水タンクに上がらず、電話回線が非常用1本になり、PCは充電バッテリーの尽きるところまででダウン。おまけに当日はJRが「計画運行」という新方式の運行方式だったため（8時からのダイヤ回復は・・・3時間以上遅れ、しかも駅は乗車待ちの利用者で大渋滞）本校職員の中には6時間以上かけてやっと学校に到着した・・・という大変な経験をした例も。気がかりなのは、昨今の台風の強力さや線状降水帯による豪雨の日常化です。これからの安全な学校運営にとっては、保護者の皆様との連携やご理解とご協力がますます不可欠な時代になっているという実感を強くしているところです。今後ともよろしく願いいたします。

## 児童生徒の活動から



## 1. 高B本校の体育発表会



腕を前から横に

昨年は猛暑に警戒しながらの開会式でしたが、今年は一転雨模様の中での開会式。大事をとって体育館での発表会となりましたが、生徒たちは準備体操からやる気100%でした。



カッコイイ!



ソーレ!ソーレ!

恒例の色別対抗綱引き(´ω´)・・・人数のバランスを考えて他の色の組からも応援の生徒が参加。勝っても負けても笑顔いっぱいの鎌養スピリッツが弾けていました。

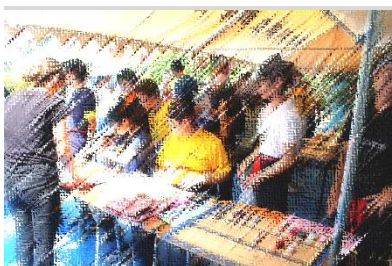


まだまだこれから

学年別の対抗競技では、三年生の紅白玉入れ合戦が出色(´ω´)・・・  
「玉入れ」⇒「ダンス(UFO)」⇒  
「玉入れ」⇒「ダンス(PPAP)」⇒  
「玉入れ」⇒「ダンス(USA)」⇒  
「玉集め」という大胆な構成に拍手喝采。

昨年度は感涙を誘ったフィナーレのダンス。今年は体育館でのダンスだったので、ちょっとスペース的に親子合同のダンスは難しかったようです。しかし、その分、アンコールまで深刺と踊る生徒の姿に、応援に駆けつけてくれた家族の皆さんから熱烈な拍手の雨霰(´ω´)・・・。生徒のパフォーマンスに心も晴れ晴れ・・・感謝でいっぱいになりました。

## 2. 分教室・金井祭



今年も分教室のカレー専門店 BUN には黒山の人だかりが ( ^ω^ ) ・・・。  
右の創作小物売り場にも目の肥えた常連さんが鈴なりに。真夏日の中、汗びっしょりで働いた生徒の皆さん、お疲れさまでした。来年もよろしく。



## 3. 高A3年生・美ら海シーサーを「お母さんといっしょ」に？



新学習指導要領のキャッチフレーズは「社会に開かれた教育課程」・・・。「社会」って何だろう。私たちの学校にとって、児童生徒にとって、「社会」はどこにあるのだろうか・・・と日頃から自分に問いかけて

高Aの授業参観中に突如始まった3年生のお母さんたちの授業「参加」の様子に、地域よりも身近な社会（他者＝友達の家族という集団）が、鎌倉養護に通学・在宅で学ぶ230人の児童生徒とその家族の皆さんとその友達や知人たちのつながり・・・にあることを実感する機会となりました。

## 4. 母たちのHHUG研修会PART II



<校長を囲む会>では、保護者の皆さんがHUUG（福祉避難所運営ゲーム）に取り組みました。障害者を含む災害弱者への対応について、防災用品について、どうしよう、こうかしら、と今年も楽しくて真剣で活気あふれる学び合いになりました



### <職員の異動について>

9月1日付で配属された先生

○杉山明美先生

○石井祐太先生

9月30日付で退職された職員

○野澤和美さん（SB・給食介助員）



ノンステップバスに合わせて改修されたスロープ式のプラットフォーム。傾斜の斜度が心配でしたが、先生たちからは「まあなんとか」と及第点。宿泊学習に修学旅行にと今年もここからスタートする校外学習が始まっています。

葉を黄ばみ 空高くなり 雲はるか 色鮮やかに 走りゆくバス

夏の光が弱まって物の姿かたちが優しく見えてきます。昔の詩人はそんな秋の空気を「透明だ」と表現しました。

「葉を黄ばみ」は古語の用法で「葉が色づいて」という意味です。SBの後姿を眺めながら詠みました。